

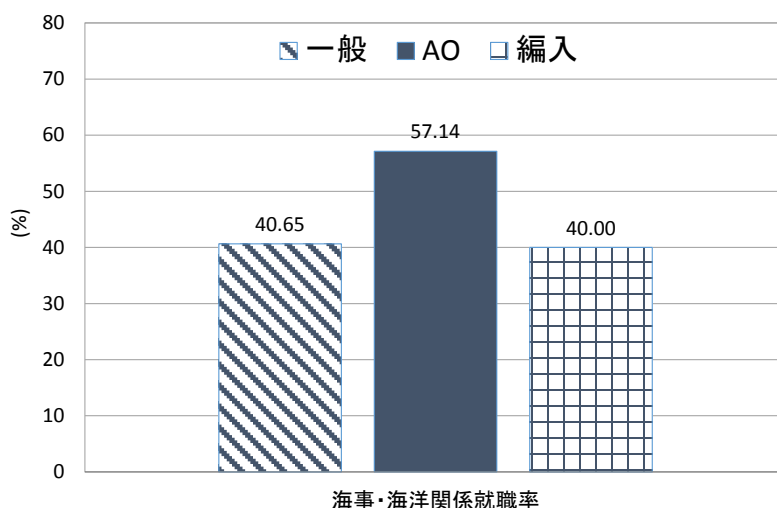
AO入試の「これまで」と「これから」 中谷直樹（大学45期）

大学にとって、「入試」は非常に重要です。昨今では人材の多様性についてのニーズが高まっていますが、大学における「人材育成」においても、多様な観点から人物のポテンシャルをはかり、育てていくことが必要です。しかしながら、通常の一般入試における評価は、その制度上どうしても「学力」が中心となるため、多様な長所を有する学生を評価し、育成するには十分な制度とは言えません。

海洋システム工学科／海洋システム工学課程においては、平成18年度（2006年度）入試から、海洋システム工学を学ぶことに対する興味と情熱が高く、将来の海洋・海事分野を担っていく人材を育てていくために、AO入試（自己推薦型入試）を始めました。AO入試は、出願者自身の人物像を学校側の求める学生像（アドミッション・ポリシー）と照らし合わせて合否を決める入試であり、基礎学力、コミュニケーション能力、独創性やひらめき、学問や研究に対する熱意や積極性、視野の広さや倫理観などについて多面的に評価し、入学生を選抜する方法です。

AO入試は開始当初、狙いとしていた人材の育成が難しいことが、AO入試を実施した様々な大学で問題となりました。それは、目的意識は高いものの、一般入試と比べて学力検査のハードルが低いことで基礎学力が担保されず、大学課程の授業についてくることができない事例が発生したからです。本学の工学部でも、いくつかの学科がAO入試を行っていましたが、上記の問題点からAO入試制度を取りやめるという選択を取らざるを得ない状況に至り、現在では、海洋システム工学課程のみが継続しております。本課程においても、AO入学生の基礎学力不足が問題となり、存続が危ぶまれることもありましたが、選考時における基礎学力検査の工夫や、大学入試センター試験の導入、合格者に対する入学前教育の拡充、入学後の手厚い学習指導などによって、入学後も活躍できる学生の選抜・育成ができるようになってきました。すでに卒業生を輩出した、過去9ヶ年のAO生を振り返ると、海洋・海事関係（造船・海運・海洋関連）への就職率は6割ほどで他の入試制度よりも20ポイント程度高く（グラフ参照）、AO入試の狙い通り海洋・海事分野に対する人材育成を担うことができるようになったと考えております。最近では多様な入試制度の一つとしてAO入試は見直されてきており、国立大学でもAO入試の定員枠は増加しています。また、2020年度から始まる大学入試改革においては、AO入試は思考力・判断力・表現力などを評価する「総合型選抜」と名称を変え、推薦入試と合わせて定員の3割にまで引き上げるという目標が国立大学協会から打ち出されています。

このようなAO入試ですが、来年度（2019年度）も本課程ではAO入試を行います。鷗朋会会員の皆様には、ご家族・お知り合いの方々はこの入試制度をご紹介していただきたく、AO入試のチラシを同封させていただきました。入試内容及び説明会の詳細はチラシをご覧ください。AO入試に対しては特別な準備は必要なく、海洋に関する工学への強い意欲情熱と、最低限の基礎学力があれば受験することができます。受験機会の一つとしてご紹介していただければ幸いです。



卒業生だより



「数年後の自分のあるべき姿に向けて」

日立造船（株）山内 亮（大学 64 期）

大学 64 期の山内亮です。まずは自己紹介をさせていただきます。

私は本学を平成 28 年に卒業し、日立造船（株）へ入社しました。学生時代は新井先生の御指導の下、排水処理の自動化をテーマとして画像処理に関する研究を行い、「排水処理施設の自動化に向けた簡便な画像判別の検討」というタイトルの卒業論文をまとめました。入社してから現在に至るまでの 3 年間は、卒論テーマに少なからず関係のある水処理大阪営業部で日夜奮闘しております。さて、当社「日立造船」についてご紹介します。かつては日立製作所のグループ企業だったため、社名に「日立」がついています。また、もう一つの「造船」は当社が造船業として創業したためですが、現在は造船事業を行っていません。このような社名の由来には拘らず、これまで独自の成長・発展を遂げてきた歴史ある会社です。主力の既存事業はごみ処理場、し尿処理場、浄水場、海水淡水化等のプラントで、新事業として全固体リチウムイオン電池（電解液の代わりに固体の電解質を使用する物）や、落葉樹のトチュウ（杜仲の木）から抽出しゴルフボールに精製（製品名：バイオスピン）することにも取り組んでおります。このように私は既存事業を行いつつ、常に新しい分野にチャレンジしている所が面白いと感じています。



私は和歌山県、大阪府、奈良県の 1 府 2 県を担当エリアとして営業活動を行っていますが、特に自治体を顧客とした浄水場、下水処理場への売り込みが主要業務です。そういった中で、1 年目は自社製品を勉強することから始まりました。そして担当エリアの中で自社製品のメリットが活かせる場所はどこなのか考え、パンフレットを持って営業に行きました。色々な所に営業へ行く中で自治体が色々な悩みを持っていることを知りましたが、その悩みの解決策の検討に関して相談を受けることがありました。自治体から受けた相談内容の整理が一度では不十分なため、社内への報告に正確さを欠くことがありました。そんな時は、内容確認のために何度も自治体へ足を運びました。自治体の悩みのほとんどが自社製品だけでは解決できないことばかりだったので、他社製品についても勉強しました。いろいろな関連製品のパンフレットを見ましたが内容の把握にまでは至らなかったため、自治体の悩みを解決するために主体的に当社の技術部門の担当者にその詳細を尋ねたり、メーカーの技術者に直接問い合わせたりしているうちに自己の知識として身に付けていきました。

こうして、社会人 1 年目で苦勞・痛感したことは正確に報告することの難しさとその重要性、それに加えて主体性を持って自分で考えて行動しないと本当の知識として身に付かないということでした。

2 年目になると、自治体や設計会社との関係が少しずつ築けるようになり、仕事も増えてきたのですが、今度はスケジュール管理が出来なくなって、仕事を円滑に進めることが難しくなっていました。その原因は、すぐに解決できる仕事ばかりを先に済ませて、難しい仕事は後回しにしていることだと気がつきました。そこで、与えられた種々の仕事に対して優先順位を付けること、締め切りを自分で設けること、この 2 点を意識して仕事を行うことにしました。そうすることで、仕事の効率が格段に上がりました。

社会人になって 3 年が経ち、将来に対する目標設定が重要だと感じています。単年度の目標は重要ですが、それよりも 3 年後にあるべき姿を思い描いて目標を立てたいと思います。それは自治体の問題点（困っていること）に対しては多種多様の提案が行え、そして社内的には受注戦略を立てて、具体的に行動して案件を受注できる営業担当者になりたい、ことです。そのような営業マンになるためにはどうすれば良いかについて、テクニカルスキル・コンセプチュアルスキル・ヒューマンスキルの 3 点について、それぞれ現状の課題、実践すべきこと、到達イメージを箇条書きにして、その都度それをフォローしながら業務遂行に励んでおります。

造船関係の仕事ではないですが、同窓会等でお会いした際はご指導、ご鞭撻頂けましたら幸いです。最後に、乱筆の文章に最後までお付き合い頂けましたこと深く感謝致します。

鷗朋会 細則

2018年5月26日(土)に開催しました鷗朋会理事会において、「会費滞納者に関する細則」と「就学中正会員の会費に関する細則」が提議され、議論を尽くした後に承認されましたので、ここにお知らせいたします。

「会費滞納者に関する細則」

第一条 「鷗朋会会則」第13条に示す会費を10年以上滞納または5年以上滞納で会費納入実績無し又は卒業時単年度のみ納入の会員を会費滞納会員とする。

第二条 会費滞納会員の認定は理事会で行う。

第三条 会費滞納会員へは、「鷗朋」・ニューズレターなどの発行物の郵送を停止する。
会費滞納会員は、「鷗朋ホームページ」で同窓会情報の入手が出来る。

附 則

この細則は、理事会承認(2018年5月26日)に基づき2019年4月1日から施行する。

「就学中正会員の会費に関する細則」

第一条 大学院などに就学中の正会員を就学期間に限り、就学中正会員とする。

第二条 就学中正会員の認定は理事会で行う。

第三条 就学中正会員は、「鷗朋会会則」第13条に示す会費を免除する。

附 則

この細則は、理事会承認(2018年5月26日)に基づき2019年4月1日から施行する。

事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

2018年度の会費納入(年会費 2,000円)をお願い致します。同封の振込用紙をご利用いただくか、りそな銀行、郵便振替口座にご送金下さい。なお、すでに会費を納入いただいている方には請求書を同封しておりません。御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本同窓会の運営は、会員による会費によって支えられています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

原稿募集！！

「鷗朋」は毎年定期的に発行・配布しています。是非ご寄稿下さい！

2017年度 会計報告書			
収入の部		支出の部	
前期繰越	451,411	振込手数料	52,600
		通信費	423,105
同窓会会費	1,088,000	役員費	627,200
前納分(2018年度分～)	32,000	事務費	88,382
理事会会費	15,000	印刷費	134,903
雑収入(利息)	2	会議費	53,941
HP拡充費	30,000	雑費	0
活動援助金	100,000	HPアルバイト	30,000
同窓会活動支援金	154,000		
記念品販売費	8,121		
退職記念会残金	4,808		
小計	1,431,931	小計	1,410,131
		次期繰越	473,211
合計	1,883,342	合計	1,883,342

会計監査

大阪府立大学工学部 鷗朋会殿

監事 杉山和雄 吉久英昭

2017年度の同窓会会計につきまして、監査の結果、適正に管理運営されていることを確認いたしましたのでご報告いたします。

今回は会計報告のみですが、正式には、議事録とともに「鷗朋27号」で掲載いたします。

Homecoming Day 2018

◆大阪府立大学ホームカミングデー2018のご案内◆

ホームカミングデー2017には250名近くの方にお集まり頂き、ありがとうございました。今年も以下の通り開催を予定しております。なお、一昨年からウェルカムパーティーは会費制としましたが、たくさんの方にご参加頂けるようになり、生協食堂では手狭になりましたので、今年は体育館での開催を予定しております。また、本年は創基 135 年ということもあり、記念講演会の開催も予定しています。

◆ 開催日:2018年11月4日(日) 白鷺祭 最終日

◆ 内容:

1) 記念講演会

- ・ 開催時間(予定):9時45分~11時45分
- ・ 講演者(人選中):卒業生1名、教授1名
- ・ 開催場所:Uホール白鷺(学術情報センター大ホール)

2) ウェルカムパーティー

- ・ 開催時間(予定):12時15分~14時15分
- ・ 開催場所:体育館
- ・ 会費:3,000円(原則 コンビニからの事前振込)

◆ その他

- ・ 詳細は決まり次第、校友会ホームページ、メールマガジンにてお知らせします。
- ・ OPU-Net 翔(しょう)に、未だご登録されていない方は、下記サイトから登録をお願いします。
ご登録頂いたアドレス宛に、メールマガジンが届きます。

<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/tsunagaru/opu-net/>

- ・ ご不明な点がありましたら、校友会事務局までお問い合わせください。

電話:072-254-8143 Mail: office@opucr.osakafu-u.ac.jp

校友会 HP: <http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/>

- ・ 同時開催される同窓会(〇期同窓会など)を予定されている卒業生の方は、校友会 HP に掲載されますので、校友会事務局または、鷗朋会事務局までご連絡下さい。



～編集後記 「ノイズフィルター処理」～

鷗朋 編集委員長 三宅 成司郎 (大学30期)

ノイズフィルター処理は信号処理技術の基礎的手法の一つであり、実施するデータ分析にとって不要と思われる情報を取得データから除去する方法です。例えば、深緑の木々が風によってゆらゆらと揺らいでいる様子を観測している時に、その側を自動車が通過した時に同時に拾った振動は、この観測データにとっては不要なノイズ信号です。このような高周波数の信号を遮断・除去するフィルターは、低周波数の信号を通過させるので「ローパスフィルター」と呼ばれます。なにやら難しそうでも、数式で書くとすごく簡単！ $Y(n)=A \cdot X(n)+B \cdot X(n-1)+C \cdot Y(n-1)$ 、です。n番目のローパスフィルター処理後の値 $Y(n)$ は、右辺の3つの項(これも観測データ)で求められます。ここで、A,B,Cは遮断する周波数に関する定数です。

しかし、上記例で示した「振動」は本当に邪魔者なのでしょうか？見方を 180° 変えれば、これも重要なデータになります。自分への厳しい批判の声は、キャンキャンとうるさく耳障りに聞こえます。耳から入力されたそのようなノイズは、脳のローパスフィルターが都合良く除去してくれることが多々あります。でも、その中には自分にとって大切な情報が潜んでいるのではないのでしょうか。ノイズフィルター処理のさじ加減は難しいですが、『聞く耳を持つ』人間でありたいものです。(終)

■ 鷗朋会ニューズレター 第12号

発行日/2018年7月25日

鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付

<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~alumni/>

E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp

TEL/FAX: 072-254-7461